

◎ 酪農リアルオンライン授業、雄武小で実施へ
「札幌」地方創生を目的にしたウェブサイトの制作などを手がけるオージヤパン（東京）は15日、雄武小学校（北海道オホーツク管内雄武町）の5年生を対象に、酪農について学ぶリアルオンライン授業を行う。7月から一般向けに開始した酪農のリアルオンラインツアー「RAKUNO O（ラクノー）」の取り組みの一環。今後は全道・全国の小中学校にも、酪農をテーマにしたリアルオンライン授業を提供していきたい考えだ。

雄武小学校の5年生はこれまで、総合学習の授業で、町の主要産業である酪農を学んできた。地元の牧場に直接足を運び、乳牛の体の仕組みや酪農家の仕事内容を教えてもらっていた。ところが新型コロナウイルスの感染拡大で校外学習は自粛せざるを得なくなった。こうした中、担当教師が「RAKUNO」の取り組みを知り、今回のリアルオンライン授業につながった。

15日の授業では、町内の酪農家（菊地牧場）と教室をオンラインで結び、「牛の体格や種類」「エサの種類」「排泄量」「搾乳方法」など酪農の基本を学ぶ。牧場と小学校の大きさの違いや、雄武町は人口と乳牛頭数のどちらが多いかなど、身近なものと比較することで、子どもたちの印象に残るよう工夫を施す。エサは事前に学校へ届け、子どもたちが直接手で触れられるようにする。授業内容は、事前に担当教師とオージヤパンが協議して決めた。

今回の取り組みを担当するオージヤパンの松本亜也さんは「コロナ禍で校外学習や社会科見学ができなくなった子どもたちのために、リアルオンライン授業を始めることになった。酪農業界は今、後継者不足が大きな問題になっている。子どもたちに少しでも牛や酪農に興味をもってほしい、好きになってほしい。リアルオンライン授業が後継者不足の解決に向けた一助にもなれば」と話している。

15日のリアルオンライン授業は、教育関係者であれば無料で視聴できる。希望者はオージヤパンにメール（online

-tour@o-japan.co.jp）で問い合わせる。